

モビリティ×ストリートファニチャー

Mobility and Street Furniture

宇佐見 彰太郎
指導教員 比留間 真

サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 空間・工業意匠研究室

銀座の歩行者天国に着目し、平日と休日という二つのシチュエーションが持つ問題を把握し、それぞれに対応できるプロダクトの提案を検討する。

銀座 歩行者天国 モビリティ ストリートファニチャー

1. 研究目的

現在の日本では、観光地にたくさんの人が過剰に訪れることで生活環境や観光地の品質に悪影響を与えるオーバーツーリズムが問題になっている。本研究では、平日と休日で異なる表情を持つ銀座に着目し、これらの問題の解決策を模索し、快適な都市空間を実現することを目的とする。

2. 調査内容

計画地の現状を把握するために、銀座中央通りのフィールドワークをおこなった。

2.1 平日の銀座中央通り

銀座の中央通りは、平日と休日で異なる交通の特徴を持つ通りである。平日は、車道と歩道が共存しており、特に車道部分は主要な幹線道路のため、タクシーやバスなど車両の通行が活発であるため、通行が混雑することがある。

2.2 休日の銀座中央通り

休日は歩行者天国が実施され、車道部分も歩行者に開放されている。フィールドワークから以下の傾向と課題が明らかになった。

- ① 中央通り全体で、多くの人々が路上に直接座り込んでいる姿が確認されたが、特に座り込みが多く見られたのは中央通りの中間地点であった（図1）。
- ② 一部のエリアでは、道路の中央にパラソルと椅子が設置されており、歩行者が休憩にこれを利用していた。しかし、設置されているパラソルと椅子

の数が限られているため、すぐに満席となり利用できなかった歩行者が路上に直接座るケースが多く見られた（図2）。



図1. 座り込みの様子 図2. パラソル利用者

これらの調査結果から、歩行者天国での座り込み問題の主要な原因は、休憩スペースの不足であることがわかった。特に中央通りの中間地点では、休憩場所の需要が高いにもかかわらず、現在の設備ではその需要に十分対応できていない。ショッピングの合間の短時間休憩ができるスペースが必要だと考える。

また、オーバーツーリズムや高齢者、買い物客の増加により、荷物の多さや長時間の歩行が負担となる場合があると感じた。そのため、歩行者の移動や休憩を支援する新しい形のモビリティが導入されれば、快適性の向上や路上座り込みの解消に役立つ

つ可能性があると考えた。

モビリティ参考事例

① HONDA : UNI-CUB β

② WHILL : Model C2

3. コンセプト

「モビリティ×ストリートファニチャーの柔軟な空間利用」

をコンセプトに、単なる移動手段だけでなく、休憩や銀座歩行者天国での空間の調整にも利用できるモビリティのデザインを提案する。このシステムは、モビリティとして移動する際と、使用されていない時の両方で銀座の歩行者天国で起こっている問題や環境に役立つ提案を目指す。

4. アイデア展開

4.1 モビリティとしての機能

モビリティの走行範囲は、銀座の中央通りのみとする。1人乗りを基本(図3)とし、歩行速度に合わせた4~6 km/hで移動する。最大2人乗りまで対応可能で、その際は2台のモビリティが横並びに合体して一緒に移動できる。銀座特有のショッピング需要に対応し、大きなショッピングバッグを収納できるスペースも設計する。モビリティのバッテリーは、太陽光発電を活用した充電システムやリチウムイオンバッテリーを想定している。

4.2 ストリートファニチャーとしての機能

ストリートファニチャーとしての使用時には、各モビリティが連結され、ベンチとして機能することで歩行者にとってショッピングの合間の短時間の休憩スペースとして利用できる(図4, 5)。銀座の街中に多数設置することが可能なため路上への座り込みの解消も期待される。

4.3 車止めとしての機能

さらに、未使用時には連結して車止めとしても機能し、銀座の歩行者天国への車両の侵入を防ぐ。これにより、歩行者空間の安全性を確保しつつ空間を効率的に利用することが可能である。

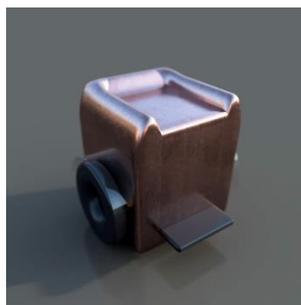


図3. モビリティ試作

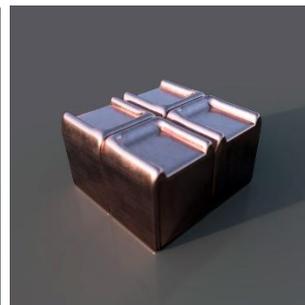


図4. 設置レイアウト

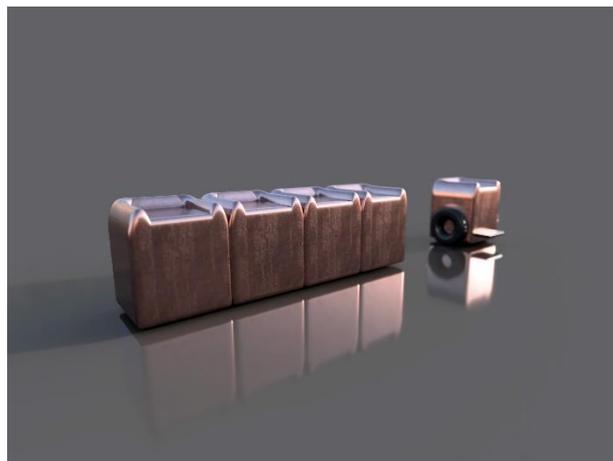


図5. ストリートファニチャーとモビリティ

5. 今後の展開

デザインコンセプトの具体化

モビリティとストリートファニチャー、車止めの機能を同時に満たすことを目指して、詳細なデザインのアイデアを発展させていく。プロトタイプを作成を通じてシミュレーションを行いながら、機能性や安全性、デザインの美しさを検証していく。

参考文献

[1] 関啓充. 周辺地域との共存からみた歩行者天国の存続条件に関する基礎的研究. 土木計画学研究・講演集. No23 (1). 2000, p. 615-618

[2] WHILL (ウィル) 株式会社. 次世代型電動車椅子 近距離モビリティ-WHILL 公式

[WHILL\[ウィル\] 株式会社 | 次世代型電動車椅子 近距離モビリティ-WHILL 公式](#) (参照 2024-10-28)

[3] HONDA. UNI-CUB. [Honda | UNI-CUB \(global.honda\)](#) (参照 2024-9-23)